



子どもがまんなか みんなで子育て

あっと
at どろっぷ

2026 年度
vol.175

港北区地域子育て支援拠点どろっぷは、主に0歳から就学前の子ども・妊婦とご家族、地域で子育てを応援している方のための施設です。

<https://www.kohoku-drop.jp/> Check our website for the schedule in English

開館日時：火曜日～土曜日（隔月1回日曜開館あり）9:30～16:00 祝日・年末年始・特別休館日あり



～子どもがまんなか、みんなで子育て～

各プログラムの詳細は
HPでご確認ください



こども誰でも通園制度 （大倉山のみ）

全てのこどもの育ちを応援し、こどもにとって、快適で良質な育成環境を整えることで、すべてのこどもたちの健やかな育ちを支援します。

（詳細はHP、お電話にてお問合せください）



助産師と みんなの知恵袋

母乳・ミルク・離乳食などはもちろん、産後の体調のことなどを助産師さんとみんなで話しましょう。

横浜子育てパートナー

子育て中の家庭、妊娠中の方が子育ての情報を知りたい時、悩みを抱えている時など、気持ちに寄り添いながら、必要な情報提供や適切な支援機関を紹介します。皆さんが足を運びやすい場所でお会い出来たらと思い、商業施設や子育てサロンのご協力をいただき、出張相談会も毎月開催しています。スケジュールは、どろっぷHPやInstagram、ココアプリでチェックしてくださいね♪

横浜子育てパートナー専用電話番号
火曜～土曜 9:30～16:00
（匿名の電話相談可）
大倉山:045-547-1180
綱島:045-547-1182

新横浜 出張ひろば りぼん

0歳から就学前までのこども、妊婦さんとご家族向けに地域情報のご案内や交流ができる場です。

～会場～ ※変更になりました
*岩崎学園新横浜第二保育園
*ベガサス新横浜保育園
・ベガサス夜間保育園
（詳細はHPでご確認ください）

両親教室

赤ちゃんを迎える準備をみんなで始めませんか？参加しやすい場所、またはオンラインを選択できます。港北区で出産する方が対象です。

ほっぷっぷ

大倉山では公園遊び、綱島では室内あそびなど、みんなでつくるあそびのプログラム。

あっぷっぷ

初めての子育てがスタートしたばかりの「家族」と赤ちゃんのためのプログラム。ゆったりとした時間を過ごせます。拠点以外に、公立保育園でも開催しています。

ダイナミックひろば

新聞あそびなど身近なものをつかって、みんなもダイナミックに遊びましょう！

出産準備プログラム

妊婦さんや先輩家庭のリアルな生活を知り、産後に役立つヒントをもらえます。妊娠7～9か月頃の方、第一子の方も、第二・三子の方も、ぜひ！！保育園とのコラボ企画や、産前トークは第二子以降の回もあります。

ひととき預かり （綱島のみ）

いつもの場所での預かりなので安心！預かり時間の前後もひろばで遊べます。

「ななつから…」

港北区の訓練会とサークルからなる「ななつから…」はそれぞれの活動を共有し、情報交換しながら、課題や想いを発信しています。いつもの活動より少し枠を広げた参加型企画「ななつから…」プラスも開催を予定しています。

外国人のかぞくの ティータイム

はなしをしたい。ともだちがほしい。にほんでくらすがいこくのひとはあそびにきてください！

どろっぷ

父親とこどもが集まってゆる～く話す場です。初めての方も是非！

どろっぷみらいカフェ

どろっぷの「これから」について、利用者とスタッフが一体となって「みらい」を考え、作り出す場です。ひろばの環境整備や季節のイベントなどを企画しています。

ふたごちゃん みつごちゃんの会

多胎児家庭のためのプログラム。親子でのんびり過ごしながらかおしゃべりをしましょう。



港北区地域子育て支援拠点どろっぴは、主に0歳から就学前の子ども・妊婦とご家族、地域で子育てを応援している方のための施設です。

<https://www.kohoku-drop.jp/> Check our website for the schedule in English

開館日時：火曜日～土曜日（隔月1回日曜開館あり）9:30～16:00 祝日・年末年始・特別休館日あり



世代を超えて育む「縦軸の循環」

日常の場では、こどもをまんやかに、親世代はもちろん、ボランティアとして関わってくれる小学生から高齢世代の方まで幅広い年齢層が集い過ごしています。

夏休み期間は、毎日6名～7名の小学生が来館し、少し年上のお兄さん・お姉さんとして、乳幼児の輪に入り遊びを牽引してくれました。時には赤ちゃんのよちよち歩きを家族と一緒に見守ったり、「自分のやりたい！」という気持ちに寄り添ったり。多様な年代や属性の方が混ざり合って過ごすことで、こどもの持つチカラや可能性が広がり、日々の過ごしがより豊かになっていると感じます。



お兄さんの絵本読み聞かせに興味深々☆

先日開催した子育てサポートシステムの説明会でのことです。元々利用者だった親子が、小学3年生になったNちゃんを連れて保育ボランティアとして参加してくれました。乳幼児期を過ごした場所に戻ってきて、少し照れくさそうな表情を浮かべていましたが、スタッフにとっては大変嬉しい再会でした。そんな中、説明会に参加する0歳児を連れた母親が、やや緊張した面持ちで階段を上っていました。すると、誰に頼まれたわけでもなく自ら階段の踊り場に立ち、「こちらです！どうぞ～！」とそっと案内してくれたNちゃん。その健気な姿を見て、母親の表情がずっと和らぐのを感じました。

さらに説明会中も、「どんなおもちゃが好きかな？」「何をしたら楽しく過ごせるかな？」と、赤ちゃんの気持ちに想いを馳せ、主体的におもちゃを選んで終始あやしてくれたのです。「ぐずってしまうかも…」という母親の心配をよそに、さりげなく、優しい関わりのおかげで、赤ちゃんは終始ご機嫌。説明会が終わると、母親はとても安堵した様子で、「ありがとう！」と感謝を伝えていました。

この場で育った赤ちゃんが成長して小学生となり、次の世代の赤ちゃんの世話をする。そこには頼もしく成長した尊い姿があり、こどもの歩みを通じた「縦軸の循環」が地域の中で確実に育まれていることを実感した瞬間でした。「教える・教えられる」という一方向の関係性ではなく、偶発的な出会いと交わりから化学反応が起き、予想もしなかった展開やその人自身の持つチカラが引きだされていく。こどもであっても大人であっても、人は人によって救われエンパワメントされ、それがまた次の人へと伝播していく好循環が生まれています。

この場や子育てを通じた出会いは、日常では接点を持ちにくい人たちを緩やかにつなぎます。その経験が自分自身の原風景として心に刻まれることで、「いつでも戻ってこられる」という安心感や、互いを気にかける温かな関わりを生み出していると感じます。私たち拠点事業にとって、このかけがえのない宝物のような関わりの一つひとつを丁寧に育んでいくことこそが、こどもたちの未来を、そしてこれからの地域をより豊かに彩っていくと信じて、これからも一層精進してまいります。

【どろっぴ施設長 田之畑 有美】



色水あそびではお姉さんたちが大活躍！

発行：2026年10月



ひろばにある手作り段ボールおもちゃ ～大綱中学校生徒からの贈り物～

大綱中学校と取り組んでいる家庭科の授業「ふれあい体験授業」は、9年前から続いています。中学生が乳幼児や乳幼児親子と交流したり話を聞いたりすることで、目の前の命が大切に育まれてきたことを実感するとともに、自分自身もまた愛されて育ってきた存在であると気づく貴重な機会となっています。



ふれあい体験の後に、こどもたちへ向けた「手作りおもちゃ」を制作し届けるところまでが授業になっていて、生徒たちは交流時に一緒に遊んだ記憶や親子からの話を思い返し、工夫を凝らしておもちゃを作ってくれます。こどもたちが大好きなイラストを貼るなどの工夫が詰まった段ボール電車や段ボールハウス、玉入れなどは、ひろばで大人気です。

おもちゃを届けてくれた際に、生徒自ら遊び方を説明してくれますが、その説明を真剣な表情で聞くこどもたちの姿や、「遊んでいいよ！」の声を合図に一齐におもちゃへ駆け寄る姿がとても印象的です。たくさん遊んでもらい、役目を終えたものもありますが、届けてもらったおもちゃはどれも大切にに使わせてもらっています。

ダブルケアカフェ

ダブルケアとは、子育てと介護などを同時に担っている状態のことです。介護と聞いてすぐに思い浮かぶのは高齢の親かもしれませんが、実際にはパートナーの場合もあります。また、こどもの不登校や発達障害などへの対応や、ご自身も何か抱えるものがある中で、子育てをしているという方もいます。自身のダブルケアの経験から、同じ状況の人と話せる場があると良いのではないかと考え、相談して下さった方がいたことから、どろっぴで「ダブルケアカフェ」を開催することになりました。

実際に参加した方からは、「友達には話しにくいことを話せた」「若い人の介護について話せる場が無くて探していた」「自分の状況を話して聴いてもらえるだけで救われる」「自分だけじゃないと思った」などの感想があります。自身の経験を伝え合い傾聴し合うことで、お互いの今の状況を労い、忙しい中でも自分を大切にする時間を持っていこうと励まし合う時間になっています。



ひまわり ～第二子以降のあかちゃん会～

第二子、第三子以降の家庭から「こどもの友だちを作りたい。親同士も交流したい。」という思いを聞き、当事者と一緒にこの会を作りました。初めてのチラシも、会の発案者である当事者が作ってくれました。「ひまわり」という愛称は、アニメ「クレヨンしんちゃん」の妹の「ひまわりちゃん」が由来で、参加者と相談して決めた思い出があります。



「ひまわり」ではいつも話題が途切れず、終了時間に気が付かないほど話し込むこともしばしば。話題は、第一子のイヤイヤ期の対応や赤ちゃん返りの対処法、夫婦の育児分担、お風呂の入れ方など、その時々で多岐に渡ります。現在第二子妊娠中の方の参加もあり、先輩家庭に質問する姿もよく見られます。それぞれのやり方を話しながら毎回の和やかな座談となり、参加者からは「明日からまた頑張れそう！」という声も上がります。

ボラリーグ☆こうほく ～報告とお礼～

今年もボラリーグ☆こうほくにご協力いただき、ありがとうございました。怪我することもなく、無事に活動を終えました。参加者は35名、延べ活動回数は89回となり、1人当たりの活動回数も昨年の2.38回から2.63回へと増加しました。これまでボランティア経験がなかった学生も多く参加してくれました。学生からは「1つのおもちゃで色々な使い方をして発想力に驚いた」「保護者の話を聞きより将来の目標の学びになった」など、新たな気づきや感想をもらえました。オリエンテーションや報告会も法人インターンの学生を中心に開催し、学生が学生のために活動する充実したプログラムとなりました。



〈どろっぴに関わる情報発信〉

どろっぴLINE通信

メールでお送りしている「港北区子育て支援メールニュース」やどろっぴ、認定NPO法人びーのびーのから活動内容や取り組みなどの近況をLINEで受け取れます！



子育て応援 ココアプリ 「岩崎学園情報科学専門学校」と「港北区役所」と「港北区地域子育て支援拠点どろっぴ」が共同開発。情報を受け取りやすく、より便利に！毎週お知らせを配信♪インストールはストアで「ココアプリ」で検索！



ココマップ 近場で楽しめる情報が盛りだくさん！クチコミ情報の投稿もできます。スマホでも見やすくなりましたので是非チェックしてみてください♪

